

京都市高齢者施策推進協議会

本日のテーマ

介護の担い手確保・定着・ 裾野拡大②

担い手確保推進
ワーキング
グループ
(第3回)



日時：令和8年8月4日 午後3時～
場所：京都市役所本庁舎 第3会議室

※ 写真は、京都市老人福祉施設協議会KYOTOかいごフォトコンテスト 最優秀賞

本日の 流れ

➤ 事務局よりテーマ説明

- 論点（課題）
- 実施中の関連事業
- 他都市事例

➤ 意見交換

➤ 意見のとりまとめ・方向性

テーマと 論点

介護の担い手確保・定着・裾野拡大②

テーマ①

介護職員のサポート体制（OJT、研修など）

介護職員（外国人介護職員含む。）が安定して仕事を続けることができるようにするには、どのような対応が必要か。

テーマ②

働き方の多様化とキャリアパス・資格取得

新卒職員や就職氷河期世代をはじめとした厳しい雇用環境から非正規雇用等で十分なキャリア形成ができなかった方について、施設のキャリアパス・資格取得など、どのように対応する必要があるか。

テーマ③

福利厚生（住宅確保、育児支援・介護支援など）

介護職員に定着してもらうためには、どのような対応が必要か。

実施中の 関連事業

テーマ① 介護職員のサポート体制（OJT、研修など）

一般社団法人 京都市老人福祉施設協議会の委員会である人材確保・定着委員会（京都市も構成メンバーの一員として参画）において、新規入職者を対象とした研修会を開催。

【研修の目的】

- 施設の枠を超えて、悩みや喜びを共有できる仲間を作る
- 直面している課題を多角的に見る
- 課題解決に向けて方向性を探り、実践できる知恵や工夫を得る

【研修の内容】

- 認知症ケアについて
- グループワーク
- 先輩職員によるメッセージ等

参加職員数 22名

【参考】外国人介護職員向け意見交換会

すでに介護福祉士資格を取得されている外国人介護職員から、合格に向けた勉強方法や工夫点、試験準備の際に感じた悩みなどについて話をしながら、外国人介護職員同士の意見交換を実施（外国人介護職員 18名が参加（R7実績））

実施中の 関連事業

テーマ② 働き方の多様化とキャリアパス・資格取得

潜在介護職員職場復帰支援事業

介護福祉士等の資格や介護の経験を有しているにもかかわらず、介護現場での身体的な負担だけでなく、仕事と介護の両立や仕事と育児の両立などが難しく、介護現場で働いていない方（潜在介護職員）を対象に、介護現場の働き方が、この間、変わってきていることを広く伝えるための動画等を作成中。

④「振り返り」

アンケート結果を踏まえ、受入施設による離職防止に向けた体制構築。

③アンケート

アンケートにより、介護経験者の不安がどの程度解消されたかなどを確認



①研修

介護現場の働き方が、この間大きく変わってきたことを伝えるための動画等

②職場体験

- (1) 施設見学ツアー
- (2) 有償ボランティア
- (3) インターンシップ

テーマ③ 福利厚生（住宅確保、育児支援・介護支援など）

担い手向け住宅確保支援金

高齢者・障害福祉分野の事業所の運営法人が、事業所で働く介護従事者に対し、市内の民間賃貸住宅・空き家・公営住宅等の借上げなどにより住宅を確保し、介護従事者を住まわせる場合に、住宅確保にかかる初期費用の一部について、支援金を交付

- ① 通勤の負担が緩和
- ② 可処分所得が増え、間接的・実質的な賃上げ
- ③ 就職を決めるインセンティブ
- ④ 定住・移住・空き家対策に向けた取組の推進

【補助率】

予算の範囲内において、担い手向け住宅1戸当たりの支援対象経費に1／2を乗じた金額を交付 ※ 1戸当たり上限20万円

テーマ③ 福利厚生（住宅確保、育児支援・介護支援など）

就労・奨学金返済一体型支援事業

中小企業等の担い手確保、若手従業員の定着及び経済的負担の軽減を目的に、京都府及び京都府中小企業団体中央会が従業員への奨学金返済支援制度を設ける中小企業等に対し、企業の負担額の一部を支援する「就労・奨学金返済一体型支援事業」について、本店所在地が京都市内の企業を対象に、京都府の補助金額の2分の1を京都市が上乗せで補助を実施。

制度概要

以下のいずれか低い額となります。

- 企業が従業員に対し支給する手当等の額の1/2以内

- 年間奨学金返済額の1万円を超える部分の1/2以内

正社員となってから
1年目～3年目 上限9万円/人・年

正社員となってから
4年目～6年目 上限6万円/人・年

例)従業員の年間返済額20万円、企業の年間手当額18万円の場合

従業員の負担額	企業の負担額	京都府補助額
2万円	9万円	9万円



本店所在地が京都市内の企業は
府補助額の2分の1を上乗せ!!

従業員の負担額	企業の負担額	京都市補助額	京都府補助額
2万円	4.5万円	4.5万円	9万円

実施中の
関連事業

他都市 事例

テーマ① 介護職員のサポート体制（OJT、研修など）

川崎市

「介護人材マッチング・定着支援事業」

【予算額 28,000千円（R8年度）】

※研修受講時の代替職員の派遣分

市内介護サービス事業所に勤務する介護職員等が資質向上を図る研修を受講する際に、代替職員を確保し介護サービス事業所に派遣することにより、研修を受講しやすい環境を整備

（類似事業）神戸市

外国人介護職員の入国後の日本語学習や介護福祉士資格取得に関する学習費用を補助。研修を受講する際に必要となる代替職員確保にかかる経費を補助

他都市事例

テーマ② 働き方の多様化とキャリアパス・資格取得

名古屋市 定着支援・人材育成の充実 【予算額 52,269千円（R8年度）】

- 介護事業所の職員の資格取得等に係る費用助成を行う「福祉人材育成支援助成事業」

【助成内容】

事業所が負担した試験受験料や研修受講料の4分の3を、事業所のサービス種別に応じて最大20万円まで助成

- 介護業務に関連する知識・技術等の習得を図るための「キャリアアップ研修」や介護現場をマネジメントするリーダーの育成や介護職員のキャリア形成を支援する

【主なキャリアアップ研修】

新規職員研修	中堅職員・管理者研修	テーマ別研修
介護保険制度研修 障害者総合支援法研修 医療保険制度研修	メンタルヘルスケア研修 BCP訓練研修 認知症ケア介護技術研修	サービス提供責任者記録研修 多様化コミュニケーション研修 ケアプラン作成研修 高次脳機能障害基礎知識研修 A I活用事例研修

再掲（担い手確保推進ワーキンググループ第1回）

他都市事例

テーマ② 働き方の多様化とキャリアパス・資格取得

横浜市 介護職員初任者研修資格取得・就労支援事業 【予算額 4,700千円（令和8年度）】

- 介護職としての就労を希望する者や、資格の取得を目指す市内介護サービス事業所の介護職員を対象に、介護職員初任者研修を開講し、介護職員初任者研修の受講、及び介護サービス事業所での就労に向けた支援を一体的に行う。
- 資格取得後は市内介護サービス事業所に介護職員として長期にわたり従事することができると思われる人材を選考
- 介護サービスを行う市内の施設・事業所（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、小規模多機能型居宅介護事業所、認知症高齢者グループホーム、通所介護事業所、訪問介護事業所、特定施設入居者生活介護事業所等）への紹介・斡旋を行う。

他都市事例

テーマ③ 福利厚生（住宅確保、育児支援・介護支援など）

名古屋市 介護・障害福祉職員等奨学金返済支援事業 【予算額 27,600千円（R8年度）※介護分】

名古屋市内事業所等に在籍する介護職員等の奨学金返済を支援。

対象者 (主な要件)

- ・ 名古屋市内の事業所等に常勤の介護職員や介護支援、相談支援専門員、看護職員として雇用されていること。
- ・ 申請日の属する年度の末日において対象事業所に在籍しており、かつ就業を継続する意思があること。
- ・ 自ら奨学金を返済していること。

助成期間

5年間（上限）

助成額（上限）

年額15万

上の要件を満たす

年額22.5万

かつ継続3年以上在籍する実務者研修修了者
または看護職・相談職有資格者

キャリアアップに伴い、助成額が上がります。

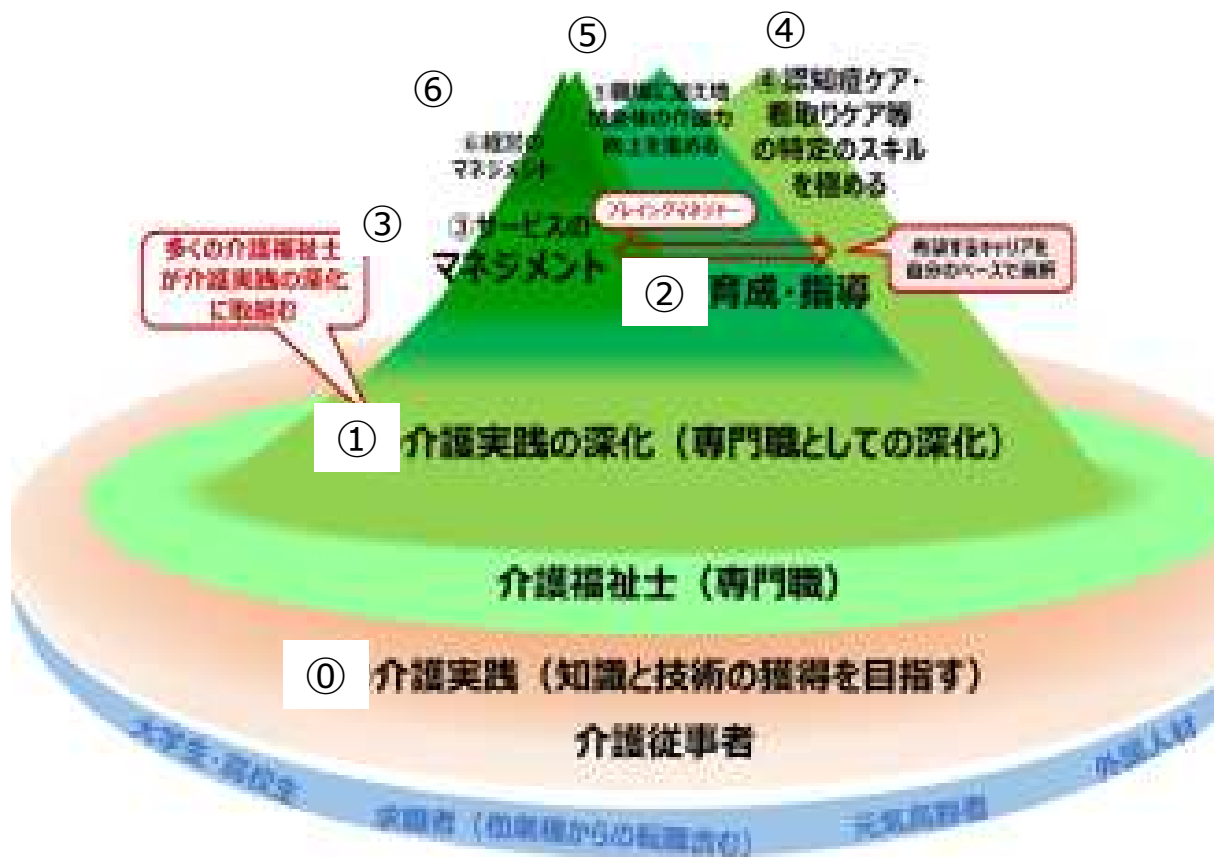
年額30万

かつ継続4年以上在籍する介護福祉士・看護職・相談職有資格者

対象となる奨学金

- ・ 日本学生支援機構奨学金（第一種及び第二種）
- ・ 交通遺児育英会奨学金
- ・ あしなが育英会奨学金
- ・ 生活福祉資金貸付制度における教育支援資金（教育支援費及び就学支度金）
- ・ 母子父子福祉資金（修学資金及び就学支度資金）
- ・ 地方公共団体の実施する奨学・育英資金

【参考資料】「介護福祉士のキャリアアップにおける職場環境等の影響に関する調査研究事業」（令和5年度老人保健健康増進等事業）報告書



	キャリア
⑥	介護実践（知識と技術の獲得を目指す）
⑤	介護実践の深化（専門職としての深化）
④	育成・指導
③	サービスのマネジメント（介護職のまとめ役）
②	認知症ケア・看取りケア等の特定のスキルを極める
①	現場に加え地域全体の介護力向上を進める
①	介護実践（知識と技術の獲得を目指す）

※ 次シート含めて、令和7年5月9日 第1回社会保障審議会福祉部会福祉人材確保専門委員会資料より抜粋

【参考資料】「介護福祉士のキャリアアップにおける職場環境等の影響に関する調査研究事業」（令和5年度老人保健健康増進等事業）報告書

主な研修等（例）

①介護実践（知識と技術の獲得を目指す）

・介護福祉士実務者研修・介護職員初任者研修・生活援助従事者研修・入門的研修

②介護実践の深化（専門職としての深化）

・認知症介護実践者研修・介護福祉士基本研修・福祉職員キャリアパス対応型生涯研修課程（初任者コース）

③育成・指導

・介護福祉士ファーストステップ研修・認知症介護実践リーダー研修・ユニットリーダー研修・認定介護福祉士養成研修・認知症介護指導者養成研修・福祉職員キャリアパス対応型生涯研修課程（中級職員コース）・介護福祉士実習指導者講習会・アセッサー講習

④サービスのマネジメント（介護職のまとめ役）

・介護福祉士ファーストステップ研修・認知症介護実践リーダー研修・ユニットリーダー研修・認定介護福祉士養成研修・認知症介護指導者養成研修・福祉職員キャリアパス対応型生涯研修課程（チームリーダーコース）・小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修

⑤認知症ケア・看取りケア等の特定のスキルを極める

・介護福祉士ファーストステップ研修・認知症介護実践リーダー研修・ユニットリーダー研修・認定介護福祉士養成研修・認知症介護指導者養成研修

⑥現場に加え地域全体の介護力向上を進める

・認定介護福祉士養成研修・認知症介護指導者養成研修

⑦経営のマネジメント

・福祉職員キャリアパス対応型生涯研修課程（管理職員コース）・認知症対応型サービス事業管理者研修